



佐賀市立小中一貫校富士校小学部 学校だより

かがやけ！！富士っ子！！

ひとりひとりが輝く 富士っ子をめざして

【第3号】

令和8年6月29日発行

文責 校長 久芳 信之

TEL 0952-63-0013

☆雨は大切な「資源」です☆

いよいよ6月です。雨の多い季節になりました。この季節を「梅雨」といいますが、なぜ「梅」という字が使われているのでしょうか。

6月の梅雨の季節に、梅の実が熟してくるからです。梅シロップや梅干を作っている家庭もあるのではないのでしょうか。

梅雨によく見かけるカタツムリ。このカタツムリについてのクイズです。カタツムリは自分の殻を大きくするために、何を食べているのでしょうか。一番は「くだもの」、二番は「お菓子」、三番は「コンクリート」。正解は三番の「コンクリート」です。コンクリートの中にはカルシウムという、殻を作るのになくはならぬ栄養がたっぷり入っているそうです。人間はコンクリートを食べることはできませんが、カタツムリは1万から2万本以上ある歯（歯舌）でかたいコンクリートを食べるそうです。

雨が多いと外で遊ばなくて困ることもありますが、雨が降らないと困ることもありますね。

そこでクイズです。雨が降らないと困ることは何でしょうか。一番「飲み水」、二番「お米づくり」、三番「火事を消す」。正解は全部ですね。

雨は私たちの生活を支えてくれる大切なものです。これをむずかしい言葉で「資源」といいます。水という資源を大切にしていきましょう。

☆人権について考えよう☆

6月3日（水）に、人権教室「安心・自信・自由を守ろう」を行いました。

「人権」とは「人が人として社会の中で自由に考え、自由に行動し、幸せに暮らせる権利」です。当たり前のことのようにですが、社会にはこの人権が守られていない場面もまだまだ見られます。この「人権」について正しく知り、人権感覚を養っていくための人権教室です。

子ども達には、この「人権」を「だれでも、えがおで、しあわせに生きるために大切なもの」と話しています。

人権教室では、遊びの場面、授業中の場面、好きなことを選ぶ場面という3つの劇を通して、安心・自信・自由を守ることの大切さについて学びました。この教室を通して、「自分の大切さと、他の人の大切さ」を認めることができるようになってほしいと願っています。

☆5・6年生 田植え体験☆

6月9日（火）、JAの方からのご指導で、5・6年生が田植を体験しました。富士町の農業を体験することを通して、自然と人間のかかわりについて考えるきっかけにすると共に、故郷のよさを感じたり地域の方への感謝の気持ちをもったりすることが目的です。

5年生の中で田植えが初めての子どもたちが多く、田んぼに足をとられながらも、一束ずつ丁寧に植えていました。学校のすぐ横ですので、稲の成長を子どもたちに観察してほしいものです。

水田の管理をしてくださる〇〇様よろしくお願いたします。

☆ミヤマアカネ保護活動 5年生☆

5年生は今年も総合的な学習の時間でミヤマアカネの保護活動を通し、環境保全や富士町の良さについて

学んでいます。

この取組は2016年より続けており、今年で、11年目です。

6月4日に、佐賀大学の先生が、ミヤマアカネについての学習会を行いました。

今回は、古湯温泉の近くにある佐賀県の定点観測場所で水生生物の調査を行います。

今年もたくさんの水生生物が観察でき、富士町の自然の豊かさを実感できることを願っています。

☆線状降水帯が発生した時の対応について☆

今年の梅雨は例年以上に雨量が多く、各地で激しい大雨や集中豪雨がニュースとなっています。

本校でも、児童の安全を第一に考え、気象情報に応じた迅速な対応を心がけています。

通常、大雨などで学校が休校にある場合は、学校から保護者へメールを出します。

しかし、「線状降水帯」が早朝に発生した場合や発生する恐れが高まった場合は、佐賀市教育委員会から各家庭に、「自宅待機」等のメールが出されることがあります。

その際は、佐賀市教育委員会の指示に従ってください。その後の対応については、学校から保護者にメールでお知らせします。